

(様式第 9)

大医病発第 65 号
平成 21 年

厚生労働大臣 様

開設者名 学校法人 大阪医科大学
理事長 國澤 隆

大阪医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 20 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	93 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	348 人	195 人	385.3 人	看護業務補助	86 人	診療エックス線技師	人
歯科医師	9 人	13 人	11.4 人	理学療法士	19 人	臨床検査技師	66 人
薬剤師	47 人	6 人	50.0 人	作業療法士	7 人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	7 人	その他	人
助産師	15 人	3 人	17.2 人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	764 人	21 人	782.0 人	臨床工学技士	14 人	医療社会事業従事者	6 人
准看護師	8 人	2 人	8.9 人	栄養士	3 人	その他の技術員	10 人
歯科衛生士	2 人	人	2.0 人	歯科技工士	2 人	事務職員	86 人
管理栄養士	13 人	人	13.0 人	診療放射線技師	44 人	その他の職員	103 人

(注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	711.5 人	6.2 人	717.7 人
1日当たり平均外来患者数	1,906.5 人	94.5 人	2,001.0 人
1日当たり平均調剤数	入院 629.7 剤	外来 497.5 剤	合計 1,127.2 剤

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅷ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	14人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着、除球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
31燐一磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はヒオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHIF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	68人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	25人
・多発性硬化症	88人	・ウェゲナー肉芽腫症	9人
・重症筋無力症	115人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	82人
・全身性エリテマトーデス	377人	・多系統萎縮症	0人
・スモン	11人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	30人	・膿疱性乾癬	0人
・サルコイドーシス	142人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・筋萎縮性側索硬化症	38人	・原発性胆汁性肝硬変	75人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	285人	・重症急性膵炎	0人
・特発性血小板減少性紫斑病	82人	・特発性大腿骨頭壊死症	23人
・結節性動脈周囲炎	37人	・混合性結合組織病	53人
・潰瘍性大腸炎	233人	・原発性免疫不全症候群	5人
・大動脈炎症候群	34人	・特発性間質性肺炎	6人
・ビュルガー病	14人	・網膜色素変性症	88人
・天疱瘡	1人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	60人	・原発性肺高血圧症	4人
・クローン病	115人	・神経線維腫症	17人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	17人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	201人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	2人
・アミロイドーシス	9人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1人
・後縦靭帯骨化症	9人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・ハンチントン病	1人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1カ月に10回程度		
剖検の状況	剖検症例数	36例	剖検率 8.8%

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1) 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	20年度配分額	補助元又は委託元
発症直後患者膵組織の解析による劇症1型糖尿病の成因解明	花房俊昭	糖尿病代謝・内分泌内科	1,690,000円	⑩日本学術振興会 基盤研究(C) 委
劇症1型糖尿病の成因解明-モデルマウスを用いた膵島破壊関与分子の解析	今川彰久	糖尿病代謝・内分泌内科	1,430,000円	⑩日本学術振興会 基盤研究(C) 委
劇症1型糖尿病患者血清の解析による新規インスリン様分子の同定	三柴裕子	糖尿病代謝・内分泌内科	1,560,000円	⑩日本学術振興会 若手研究(B) 委
「車椅子エコノミークラス症候群」の実態調査とその予防対策	木村文治	神経内科	600,000円	⑩科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
生活習慣病としての慢性萎縮性胃炎および胃がん発生におけるアディポネクチンの意義	樋口和秀	消化器内科	910,000円	⑩科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
間質性肺炎合併皮膚筋炎における疾患関連マーカー蛋白の定量プロテオミクスによる探索	武内徹	膠原病内科	1,600,000円	⑩科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
うつ病患者における電気けいれん療法の臨床効果とサイトカイン発現量変化に関する研究	西田勇彦	精神神経科	1,000,000円	⑩科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
ドーパミンと睡眠-覚醒調節：ドーパミン受容体作動薬により生じる睡眠の脳内機構	吉田祥	精神神経科	1,100,000円	⑩科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
重症肺高血圧症に対する一酸化窒素分泌型人工血管の肺動脈移植術の基礎的検討	勝間田敬弘	心臓血管外科	1,400,000円	⑩科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立	勝間田敬弘 (分担研究者)	心臓血管外科	500,000円	⑩厚生労働科学研究費補助金 委
5-ALAと自家蛍光の二重蛍光スペクトル解析による高精度脳腫瘍同定方法の開発	黒岩敏彦	脳神経外科	1,400,000円	⑩科学研究費補助金 基盤研究C

生体内 δ -アミノレブリン酸とポルフィリン誘導体の細胞内輸送機構および薬物動態の解明とヒト悪性脳腫瘍に対する新規光線力学療法の開発	黒岩敏彦	脳神経外科	750,000 円	(補) 医工連携プロジェクト 委
脳腫瘍幹細胞におけるポルフィリン代謝解析	黒岩敏彦	脳神経外科	5,000,000 円	(補) 経常費補助金 (特別経費) 研究科特別経費 委
悪性脳腫瘍に対する硼素中性子捕捉療法の標準治療化と新規開発	宮武伸一	脳神経外科	5,800,000 円	(補) 科学研究費補助金 基盤研究 B 委
脳虚血モデルにおけるエリスロポエチンの脳保護作用の検討	宮武伸一	脳神経外科	1,750,000 円	(補) 共同研究費 委
蛋白質セラピー法とバイオナノカプセルによる持続性脳腫瘍治療薬の開発	宮武伸一	脳神経外科	3,000,000 円	(補) 厚生労働科学研究費補助金 (分担者) 委
脳腫瘍の光線力学診断・治療法の最適化: 高効率光源の開発と高感受性物質の分布解明	梶本宜永	脳神経外科	1,000,000 円	(補) 科学研究費補助金 基盤研究 C 委
脳血液および脳脊髄液環境における血管虚脱の影響の包括的研究	梶本宜永	脳神経外科	750,000 円	(補) 医工連携プロジェクト 委
中性子捕捉療法及び光線力学的治療双方に利用可能な新規硼素化ポルフィリンの有用性	川端信司	脳神経外科	2,000,000 円	(補) 科学研究費補助金 基盤研究 C 委
骨髄間質幹細胞を用いた錐体神経細胞分化誘導と、脳梗塞に対する移植再生治療法の開発	野々口直助	脳神経外科	1,900,000 円	(補) 科学研究費補助金 若手研究 B 委
抗 Warburg 効果を意図したガン治療補助薬の探索。特に 5-アミノプレイニン酸投与時に生産される	野々口直助	脳神経外科	2,000,000 円	(補) 研究機構共同研究プロジェクト 委
診断治療薬同時包埋リポソームによる悪性脳腫瘍に対する治療効果改善に関する研究	池田直廉	脳神経外科	2,100,000 円	(補) 科学研究費補助金 若手研究 B 委
脳腫瘍治療前後の拡散強調像を用いた画像解析による早期治療効果判定の有用性	山田佳孝	脳神経外科	1,900,000 円	(補) 科学研究費補助金 若手研究 B 委
脱シアロ化短半減期エリスロポエチン誘導体を用いた中枢神経再生治療法の開発	三木義仁	脳神経外科	1,100,000 円	(補) 科学研究費補助金 若手研究 B 委

悪性脳腫瘍の加速器中性子源による中性子捕捉療法の適応の高度化に関する研究	宮武伸一	脳神経外科	2,825,039円	⑧補原子力基礎基盤研究委託事業
胃がんに対するリンパ節郭清を伴う腹腔鏡下手術と開腹手術との比較に関する研究	谷川允彦	消化器外科	1,200,000円	⑧補厚生労働省がん研究助成金委
進行大腸がんに対する腹腔鏡下手術の根治性に関する比較研究	谷川允彦	消化器外科	500,000円	⑧補厚生労働省科学研究費補助金委
修復可能な肩腱板断裂の新たな手術法の開発：骨頭上方移動を制御する肩関節包再建術	三幡輝久	整形外科	200,000円	⑧補科学研究補助金若手研究(B)委
難治性急性前骨髄性白血病における新規レチノイド化合物の分化誘導機構の解明	井上彰子	一般小児科	1,100,000円	⑧補文部科学省委
癌細胞株におけるビタミンEによるアポトーシス誘導機構の解析	井上彰子	一般小児科	500,000円	⑧補日本小児栄養研究会委
脳質周囲白質軟化症におけるオリゴデンドロサイトの細胞内酸化還元電位	平清吾	周産期センター	2,100,000円	⑧補文部科学省委
脳室周囲白質軟化症発症へのプロゲステロンの関与とその抑制効果について	山岡繁夫	周産期センター	1,100,000円	⑧補文部科学省委
厚生労働科学研究費補助金子ども家庭総合研究事業子どもの心の診療に関する診療体制確保、専門の人材育成に関する研究	田中英高	発達小児科	1,000,000円	⑧補国立成育医療センターこころの診療部子どもの心の診療中央拠点病院事業委
プロモーターマイクロアレイを用いた卵巣癌の薬剤耐性化遺伝子の解析	大道正英	産婦人科	2,200,000円	⑧補科学研究補助金基盤研究(B)委
卵巣癌におけるイレッサ、アバスチンの白金製剤耐性解除の検討	寺井義人	産婦人科	900,000円	⑧補科学研究補助金基盤研究(C)委
婦人科癌における遺伝子多型解析	植田政嗣	産婦人科	1,100,000円	⑧補科学研究補助金基盤研究(C)委
網膜・視神経乳頭循環の自動調節能におけるgap結合の重要性と糖尿病による変化	杉山哲也	眼科	1,100,000円	⑧補科学研究費補助金基盤研究(C)委

NMDAおよび虚血による緑内障モデルに対するジアゾキサイドの神経保護効果	奥野高司	眼科	1,200,000円	⑩科学研究費補助金 若手研究(B) 委
ミュラー細胞におけるコラーゲン産生と特発性黄半円孔の病態に関する基礎研究	佐藤孝樹	眼科	900,000円	⑩科学研究補助金 基盤研究(B) 委
視神経乳頭循環自動調節能におけるgap結合およびグリア細胞の関与	杉山哲也	眼科	500,000円	⑩財団法人 大阪アイバンク 委
花粉暴露室を用いたスギ花粉症誘発の病態解明	竹中洋	耳鼻咽喉科	2,860,000円	⑩科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
頭頸部扁平上皮癌におけるプロスタグランジン代謝及びその受容体と臨床的意義	河田了	耳鼻咽喉科	1,170,000円	⑩科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
半規管内リンパ液カルシウムとpHの制御 (半規管内に結石は生じうるか?)	荒木 倫利	耳鼻咽喉科	650,000円	⑩科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
免疫グロブリンBCL6転座キメラ転写産物の定量測定による悪性リンパ腫の予後判定	李昊哲	耳鼻咽喉科	1,950,000円	⑩科学研究費補助金 若手研究(B) 委
慢性副鼻腔炎における好酸球性炎症に対するプロスタグランジンD2の役割	兵佐和子	耳鼻咽喉科	1,560,000円	⑩科学研究費補助金 若手研究(B) 委
色素性乾皮症フェノタイプ多様性と酸化的DNA損傷修復能との関連に関する研究	森脇真一	皮膚科	1,700,000円	⑩科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
前立腺癌骨転移責任遺伝子の同定と組換えHSVによる癌ワクチン治療	勝岡洋治	泌尿器科	500,000円	⑩科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
新免疫寛容導入法のメトロン遺伝子ゲノム内導入による移植腎永久生着の試み	東治人	泌尿器科	4,000,000円	⑩科学研究費補助金 基盤研究(B) 委
3種抗体、および、レンチウイルスを用いた移植腎生着延長の試み	東治人	泌尿器科	1,500,000円	⑩科学研究費補助金 萌芽研究 委
自然免疫による移植片拒絶機構について	能見勇人	泌尿器科	1,900,000円	⑩科学研究費補助金 若手研究(B) 委

マクロファージ除去によるラット同種異系移植腎の拒絶抑制（急性、慢性拒絶反応の克服をめざして）	能見勇人	泌尿器科	500,000円	⑧財団法人大阪腎臓バンク
アクロメリン酸 A 誘導体を用いた神経因性疼痛治療薬の開発	南敏明	麻酔科	1,040,000円	⑧平成 20 年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (C)
神経線維種の基礎的研究（血管新生、VEGF）	原舞	形成外科	1,000,000円	⑧大阪難病研究財団委
IFN- γ KO マウスでの脱毛と IFN- γ および同種移植による発毛の分子機構の解析	岡田雅	形成外科	780,000円	⑧文部科学省委
安全で高性能な毛髪付複合型培養皮膚の開発に関する実験的研究	藤森靖	形成外科	1,170,000円	⑧文部科学省委
プロテオーム解析による口腔がん、口腔良性疾患に対する特異性の検証	島原政司	歯科口腔外科	2,000,000円	⑧厚生労働科学補助金(第3次対がん総合戦略研究事業)委
自己抗体結合性非ホジキンリンパ腫特異抗原の同定と診断マーカーの検索	中西豊文	中央検査部	1,300,000円	⑧日本学術振興会委
質量顕微鏡によるアミロイド組織内沈着分子プロファイル異常とアミロイド線維形成阻止法の開発	田窪孝行	中央検査部	2,400,000円	⑧日本学術振興会委
選択的プロテオミクスを用いた関節液中タンパク解析による関節炎診断マーカーの探索	松村(田伏)洋子	中央検査部	1,000,000円	⑧日本学術振興会委
可溶性癌特異抗原及び癌患者血清中自己抗体の解析による新規隣臓癌診断マーカーの開発	中西豊文	中央検査部	2,000,000円	補 ⑧科学技術振興機構
<i>In-situ</i> プロテオミクスによる組織内沈着分子の微細構造解析とアミロイド原性獲得機序解明	中西豊文	中央検査部	600,000円	⑧大阪医科大学(地域共同研究補助金)委
小児院外心停止症例に対して救急隊が行う救命処置の問題点について 計 12	新田雅彦	救急医療部	700,000円	⑧財団法人日本救急医療振興財団委
小児院外心肺停止例への AED 普及にかかわる研究	新田雅彦	救急医療部	委 300,000円	⑧平成 20 年度厚生労働省科学研究費補助金循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業

消化器悪性腫瘍に対する標準的治療のための多施設共同研究	瀧内 比呂也	化学療法センター	1,000,000円	⑧厚生労働省がん研究助成金 20指-3 委
がんの集学的治療の早期開発研究体制確立に関する研究	瀧内 比呂也	化学療法センター	1,000,000円	⑧厚生労働省がん研究助成金 20指-7 委
がんの腹膜播種に対する標準的治療法の確立に関する研究	瀧内 比呂也	化学療法センター	800,000円	⑧厚生労働省科学研究費補助金 委
早期新生児期における酸素毒性・活性酸素傷害に対する耐性と在胎週数との関連について	荻原 亨	周産期センター	650,000円	⑧科学研究費補助金 基盤研究(C) 委

計 4

合計 67

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2) 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ann N Y Acad Sci	Insulinitis in human type 1 diabetes	Hanafusa T	糖尿病代謝・ 内分泌内科
Diabetes Res Clin Pract.	Uniformity in clinical and HLA-DR status regardless of age and gender within fulminant type 1 diabetes	Imagawa A	糖尿病代謝・ 内分泌内科
Exp Diabetes Res	Fulminant type 1 diabetes as a model of nature to explore the role of C-peptide	Murase-Mishiba Y	糖尿病代謝・ 内分泌内科
Gastrointestinal Cancer Research 2008 ; 2 (6) :298-9	Salvage EMR after definitive chemoradiotherapy	Takiuchi H	消化器内科 (化学療法センター)
J Gastroenterology 2008 ; 43:45-50	Comparative study of conventional colonoscopy and pan-colonic narrow-band imaging system in the detection of neoplastic colonic polyps: a randomized controlled trial	Inoue T	消化器内科
Bulletin of the Osaka Medical College 2008 ; 54(1) :7-9	Clinical significance of intravenous natural interferon-beta therapy in chronic hepatitis C; its anti-viral adverse effects comparing with natural interferon-alpha therapy	Fukuda A	消化器内科
消化と吸収 2008 ; 31(1) :9-12	呼吸試験法による慢性膵炎患者の睪外分泌機能評価と今後の課題	瀧井道明	消化器内科
Gut. 2008; 57: 575-81	A novel rat model to determine interaction between reflux oesophagitis and bronchial asthma	Higuchi K	消化器内科
J Pharmacol Exp Ther. 2008; 324: 422-6	Role of chymase-dependent matrix metalloproteinase-9 activation in mice with dextran sodium sulfate-induced colitis	Higuchi K	消化器内科
Cancer Gene Ther. 2008; 15: 51-9	Interleukin-10 gene transfer to peritoneal mesothelial cells suppresses peritoneal dissemination of gastric cancer cells due to a persistently high concentration in the peritoneal cavity	Higuchi K	消化器内科
J Gastroenterol 2008; 43: 434-40	A prospective, single-blind trial comparing wireless capsule endoscopy and double-balloon enteroscopy in patients with obscure gastrointestinal bleeding	Higuchi K	消化器内科
Circ J 72: 1303-1307, 2008. (IF=2.373) [PMID: 18654018]	Enhanced expression of type 1 helper T-cell cytokines in the myocardium of active cardiac sarcoidosis	Kitaura Y	循環器内科 I
Am J Physiol Heart Circ Physiol 294:	Role of gp91phox-containing NADPH oxidase in left ventricular remodeling induced by intermittent hypoxic stress	Kitaura Y	循環器内科 I

Heart 94: 1002-1007, 2008.	Increased serum levels and expression of S100A8/A9 complex in infiltrated neutrophils in atherosclerotic plaque of unstable angina	Terasaki F	循環器内科 I
循環器科	胸部大動脈人工血管感染に対する治療 経験	三重野繁敏	心臓血管外科
日本小児循環器学会雑誌	小児先天性心臓血管手術後急性期に遷 延する肺高血圧症に対する経口シルデ ナフィルを用いたマネージメント	根本慎太郎	心臓血管外科
BULLETIN OF THE OSAKA MEDICAL COLLEGE	Evaluation of Thallium-201 SPECT/MRI Image Fusion in the Postoperative Follow-up of Gliomas	Kuroiwa T	脳神経外科
BRAIN NURSING	視力視野障害	黒岩敏彦	脳神経外科
Neurol Res	Differential brain cooling induced by transarterial perfusion of cooled crystalloid solution in canines	Kuroiwa T	脳神経外科
J Neurooncol	Evaluation of fluoride-labeled boronophenylalanine-PET imaging for the study of radiation effects in patients with glioblastomas	Miyatake S	脳神経外科
J Neurooncol	Tumor-specific targeting of sodium borocaptate (BSH) to malignant glioma by transferrin-PEG Liposomes: a modality for boron neutron capture therapy	Kawabata S	脳神経外科
THE JOURNAL OF OSAKA MEDICAL COLLEGE	細胞工具, 分子生物学的手法を応用した 新規 BNCT 用化合物の開発と展望	川端信司	脳神経外科
J Radiat Res (Tokyo)	Boron Neutron Capture Therapy for Newly Diagnosed Glioblastoma.	Kawabata S	脳神経外科
Pharma Medica	進行性脳梗塞に対する急性期治療効果	山田佳孝	脳神経外科
北野病院紀要	頭頸部頭蓋外動静脈奇形を合併した破 裂脳動脈瘤の一例	池田直廉	脳神経外科
Surgical Oncology	Ancillary NOTES procedures for early stage gastric cancer	Asakuma M	消化器外科
Gastric Cancer	Evaluation of lymph node metastases in gastric cancer using magnetic resonance imaging with ultrasmall superparamagnetic iron oxide (USPIO): diagnostic performance in post-contrast images using new diagnostic criteria	Tokuhara T	消化器外科
Gastric Cancer	Curability of laparoscopic gastrectomy for gastric cancer: an analysis of 10 years' experience	Zhang X	消化器外科

INTERNATIONAL JOURNAL OF ONCOLOGY	Proteomic analysis of the basic proteins in 5-fluorouracil resistance of human colon cancer cell line using the radical-free and highly reducing method of two-dimensional polyacrylamide gel electrophoresis	Tanaka S	消化器外科
Cancer Letters 263 (2) : 280-90, 2008	Proteomics-based identification of autoantibody against heat shock protein 70 as a diagnostic marker in esophageal squamous cell carcinoma.	Tanigawa N	消化器外科
Hepatology Research, 38 (5) :501-510, 2008	Significance of chymase-dependent angiotensin II formation in the progression of human liver fibrosis	Hayashi M	消化器外科
Ann Thorac Surg 85 (2) : 641-3. 2008	Aneurysm of a right-sided descending aorta with a normal left-sided aortic arch	Katsumata T	心臓血管外科
肥満研究	小児期メタボリックシンドローム診断基準における腹囲, 腹囲身長比の意義と解釈	高谷竜三	発達小児科
小児の精神と神経	頭頂葉・後頭葉萎縮を認める省令の視写困難に関する検討	奥村智人	一般小児科
Free Radical Res	Severe vitamin E deficiency exacerbates acute hyperoxic lung injury associated with increased oxidative stress and inflammation	Yamaoka S	周産期センター
Clin Physiol Funct Imaging	Variant autonomic regulation during active standing in Swedish and Japanese junior high school children.	Kajiura M	発達小児科
子どもの心とからだ (日本小児心身医学会雑誌)	いじめによる精神的後遺症とその対応	田中英高他	発達小児科
小児科	起立性調節障害ガイドラインの解説	田中英高	発達小児科
小児内科	心身医学療法の適応疾患とその技法	田中英高	発達小児科
臨床婦人科産科 62 (4) P643~649, 2008	卵巣癌における分子標的治療の展望は?	寺井義人	婦人科・腫瘍科
臨床婦人科産科 62 (10) P1332~1337, 2008	卵巣癌における抗癌剤耐性の克服	寺井義人	婦人科・腫瘍科
Oncogene 27 (19) P2737~2745, 2008	Difference between genomic actions of estrogen versus raloxifene in human ovarian cancer cell lines.	H. Sasaki	婦人科・腫瘍科
Clin Cancer Res 14 (23) P7781~7789, 2008	Maintenance treatment with bevacizumab prolong survival in an in vivo ovarian cancer model.	Y. Terai	婦人科・腫瘍科
Advanced Uterine Cervical Cancer Int J Clin Oncol 2008	Long-Term Follow-Up of Neoadjuvant Intraarterial Chemotherapy Using an Original Four-lumen Double Balloon (4L-DB) Catheter for Locally	Y. Terai	婦人科・腫瘍科

Curr Eye Res.	Endothelin-1 (ET-1) is increased in rat retina after crushing optic nerve	奥英弘	眼科
Curr Eye Res	Involvement of angiotensin II-dependent vascular endothelial growth factor gene expression via NADPH oxidase in the retina in a type 2 diabetic rat model	福本雅格	眼科
Ophthalmologica.	Relationship between diabetic macular edema and peripheral Th1/Th2 balance	糸井恭子	眼科
Doc Ophthalmol	Electroretinographic study of spontaneously diabetic Torii rats	奥野高司	眼科
Clin Experiment Ophthalmol	Peripheral cone dystrophy in an elderly man	奥野高司	眼科
Microbiol Immunol	Experimental autoimmune uveoretinitis initiated by non-phagocytic destruction of inner segments of photoreceptor cells by Mac-1 mononuclear cells	竹田清子	眼科
臨眼	結膜上皮内癌に対する5フルオロウラシル点眼治療	服部昌子	眼科
眼臨紀	成人間欠性外斜視のプリズム装用における眼位変化の検討	江富朋彦	眼科
眼薬理	小林正人, 杉山哲也, 福原雅之, 奥英弘, 池田恒彦. NMDAによる網膜微小血管細胞死に対するROCK阻害剤の効果	小林正人	眼科
Auris Nasus Larynx 35, 583-6	Primary synovial sarcoma arising in the parotid region diagnosed by fluorescence in situ hybridization.	Kawata R	耳鼻咽喉科
Muscle Nerve 37, 764-9	A new method for measuring compound muscle action potentials in facial palsy: A preliminary study	Haginomori S	耳鼻咽喉科
Arch Otolaryngol Head Neck Surg 134, 652-7	Residual cholesteatoma : incidence and localization in canal wall down tympanoplasty with soft-wall reconstruction	Haginomori S	耳鼻咽喉科
J Dermatol Scie 50: 169-176, 2008	Photoaging and DNA repair	Moriwaki, S	皮膚科
Skin Cancer 23: 27-31, 2008	大阪医科大学皮膚科において最近12年間に経験した転移性皮膚癌37例のまとめ.	清金公裕	皮膚科
臨床消化器内科, 23(2): 223-232, 2008	Virtual colonoscopyによるスクリーニングの現状 (1) CTによるcolonography	松木充	放射線科
臨床放射線 52(2): 353-356, 2008, 2	FDG-PETが発見契機となったgroove pancreatitisの1例:	稲田悠紀	放射線科

Breast Cancer 15(1): 93-100, 2008	Patients' subjective evaluation of early and late sequelae in patients with breast cancer irradiated with short fractionation for breast conservation therapy: comparison with conventional fractionation	Taisuke I	放射線科
Cardiovascular interventional Radiology	Scheme for creating a subcutaneous tunnel to place an indwelling implantable central venous access system in the forearm	Kazuhiro Y	放射線科
Neuroscience 153: 1278-1288, 2008.	Involvement of stem cell factor and its receptor tyrosine kinase c-kit in pain regulation	Minami, T	麻酔科
Journal of Plastic, Reconstructive & Aesthetic Surgery 2008 61, 1258-1259	Innervated distally-based superficial sural artery flap	T, Nuri	形成外科
Annals of Otology, Rhinology & Laryngo- logy 2008, 117(10): 719-726	Canal Wall-Down Tympanoplasty With Soft-Wall Reconstruction Using the Pedicled Temporoparietal Fascial Flap: Technique and Preliminary Results	Koichi Ueda	形成外科
J Artif Organs (2008) 11: 216-220	Application of cultured dermal substitute for amelioration of maxillary bone growth suppression after cleft palate operation in rats	Koichi Ueda	形成外科
BULL OMC 55(1): 21-29	Delivery of Sodium Borocaptate (BSH) to Oral Squamous Cell Carcinoma Cells by Transferrin-PEG Liposomes	SHIMAHARA T	歯科口腔外科
APPL Radiat Isot. 67(7-8Suppl): 109-110	Disposition of TF-PEG-Liposome-BSH in tumor-bearing mice	Ito Y	歯科口腔外科
Appl Radiat Isot. 67(7-8Suppl): 47-49	Boron neutron capture therapy for recurrent oral cancer and metastasis of cervical lymph node	Kimura Y	歯科口腔外科
Int J Oral Maxillofac Surg.	Boron neutron capture therapy for papillary syadenocarcinoma in the upper lip: a case report	Kimura Y	歯科口腔外科
Resuscitation. 2008 Sep; 78(3): 333-9	A manikin-based observational study on cardiopulmonary resuscitation skills at the Osaka Senri medical rally	Kobayashi M	救急医学教室
Cancer Letter 63(2): 280-90, 2008	Proteomics-based identification of autoantibody against heat shock protein 70 as a diagnostic marker in esophageal squamous cell carcinoma.	藤田能久	消化器外科 中央検査部
Ann Clin Biochem. 45(3): 317-321, 2008	Identification of phosphotyrosyl proteins in vitreous humors of patients with vitreoretinal diseases by sodium dodecyl-sulfate polyacrylamide gel electrophoresis/western blotting/matrix-assisted laser desorption time-of-flight mass spectrometry	向井規子	眼科 中央検査部

Ann Clin Biochem. 45 (Pt4) :413-7, 2008	Detection of citrullinated proteins in synovial fluids derived from patients with rheumatoid arthritis by proteomics-based analysis	松村 (田伏) 洋子	中央検査部 膠原病内科
Ann Clin Biochem. 45 (1) 65-69, 2008	Identification of L-plastin autoantibody in plasma of patients with non-Hodgkin' s lymphoma using a proteomics-based analysis	上田一仁	中央検査部
Cancer Chemother Pharmacol 2008 Mar 4. DOI 10.1007/s00280-008-0693-y	Kyushu Taxol, TS-1, Study Group (KTT-SG). A multicenter phase II study of biweekly paclitaxel and S-1 combination chemotherapy for unresectable or recurrent gastric cancer	Takiuchi H	化学療法 センター
Gastric Cancer	Combination therapy with S-1 and irinotecan (CPT-11) for advanced or recurrent gastric cancer	Takiuchi H	化学療法 センター
Chemosphere	Evaluation of an electrolysis apparatus for inactivating antineoplastics in clinical wastewater	Takiuchi H	化学療法 センター
Oncology	Phase II Study of a Combination of S-1 and Paclitaxel in Patients with Unresectable or Metastatic Gastric Cancer	Takiuchi H	化学療法 センター
Jpn J Clin Oncol	Multicenter Phase II Study of Cetuximab Plus Irinotecan in Metastatic Colorectal Carcinoma Refractory to Irinotecan, Oxaliplatin and Fluoropyrimidines	Takiuchi H	化学療法 センター

計 7

合計 80

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 花房 俊昭		
管理担当者氏名	診療情報管理室長 米田 博	病院薬剤部長 玉井 浩	
	中央放射線部長 鳴海 善文	病院医療相談部長 木下 光雄	
	医療安全対策室長 村尾 仁	感染対策室長 浮村 聡	
	病院事務部長代理 奥田 敏博	総務部長 三宅 努	
	医事課長代理 中谷 尚文	庶務課長 岩橋 朗	
	医薬品安全管理者 西原 雅美	医療機器安全管理責任者 岩崎 孝敏	

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		庶務課 医事課 診療情報管理室 中央放射線部	年度別に分類している
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部人事課	
	高度の医療の提供の実績	医事課 診療情報管理室	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科及び 病院薬剤部	
	高度の医療の研修の実績	各診療科	
	閲覧実績	医事課 診療情報管理室	
	紹介患者に対する医療提供の実績	各診療科	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び 病院薬剤部	
確規保則の第9条の2、3及び第1条の1各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全対策室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全対策室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	病院医療相談部 及び医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策室	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	病院薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	病院薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	病院薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	病院薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学室
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学室		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 花房 俊昭
閲覧担当者氏名	病院医療相談部 木下 光雄
閲覧の求めに応じる場所	病院医療相談部

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	67.7%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月1日
算出根拠	A：紹介患者の数	16,361 人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	12,193 人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	2,283 人	
	D：初診の患者の数	33,336 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (5 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (4 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (5) 名 兼任 (12) 名 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 「事故等」事例の発生頻度、事故の損害規模、事故の質等を分析する。 2. 安全対策についての問題点を把握し、改善策の企画立案やその実施状況を評価する。 3. 医療の安全管理の体制確保および推進のための課題を検討するために、医療安全推進部ミーティングを行う。 4. 安全対策に関するマニュアル等の具体的な検討及び見直しをする。 5. 医療安全に係わる職員への教育・研修を企画・実施する。 6. 感染対策室と密接な連携をとり、院内感染防止に努める。 7. 医薬品安全管理責任者と密接な連携をとり、医薬品の安全確保に努める。 8. 医療機器安全管理責任者と密接な連携をとり、医療機器の安全使用の確保に努める。 <p>【医療安全対策室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (5) 名 兼任 (8) 名 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全管理委員会及び事故調査委員会等の委員会の庶務を行う。 2. 安全に関する報告書からの情報収集と集計及び分析を行い、関連部署に情報提供する。 3. 医療事故発生時の現状確認及び現場の支援を行い、医療安全推進部長に速やかに報告する。 4. 医療事故発生時の診療録の記載に関する指導助言を行う。 5. 医療事故発生時には患者及び家族への説明や対応が適切に実施されるように指導を行う。 6. 医療事故に関する現員究明と再発防止への取り組みについて指導を行う。 7. 医療安全に係る講演会、事例検討会を企画・開催する。 8. 安全対策ポケットマニュアルを改訂する。 9. 安全対策マニュアル改訂する。 10. ニュースレターの発行・配布を行う。 11. 病院医療相談部へ情報提供する。 12. 医療安全に係る情報収集及び資料を作成する。 13. 医療現場の現状把握や情報収集を目的とした聞き取りや巡回を行う。 14. 安全対策に係る活動の必要性が生じた時は、関連部署と連携を図り対応する。 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療機関における安全管理に関する基本的考え方 2. 医療に係る安全管理のための委員会その他医療機関内の組織に関する基本的事項 3. 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針 4. 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	

⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： 1. 医療安全の確保と推進に関すること 2. 医療安全の実施、監査および指導に関すること 3. 医療事故の発生状況についての情報収集、分析に関すること 4. 医療事故に対する予防策、措置に関すること 5. 医療安全に関する教育・研修および啓発に関すること 6. その他の関連事項 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年4回以上
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 1. 医療に関する基本的な倫理観や心構えを身に付け、安全に医療を実践するために必要な専門家としての知識や技術を習得し、さらにチームの一員としての意識の向上を図ることを目的とする。 4回/年以上の研修会（事例検討会・講演会を含む）を実施している 2. リスクマネージャーを中心に宿泊研修を実施し、RCA分析の体験とワークショップを行う。 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 （ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. 事故を防止するために、状況に応じ現場巡回し、情報を適切に収集、分析し、必要な対策を企画、実施するとともに有用な情報について、時期を失することなく現場にフィードバックする。 2. 事故等の報告を安全管理委員会で検討・協議を行い、整理分析し再発防止についてリスクマネージャーを通じて医療従事者全員に周知徹底を図る。 3. 患者影響レベル3b以上の全ての重大事例については、事故調査委員会でピアレビューにより過失判定を行う。 4. 検討・協議し決定された方針に基づき、安全管理に関する教育、研修を行い医療安全対策の推進に努める。 5. 事故発生に対する問題点と課題を明確にし、再発防止と安全確保の為の検討を行う、医療改善委員会及びリスクマネージャー会議を設置している。ガイドライン、マニュアルを作成し院内に周知徹底を図る。 6. 医療安全に係るあらゆる情報をニュースレター、ホームページ、伝達会等で提供し、医療安全に対する意識を高め、組織横断的に安全管理の体制確保に努める。 	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	①・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策の為に委員会、その他本院の組織に関する基本的事項 3. 院内感染のための職員研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する本指針の閲覧に関する基本方針 7. その他の本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染の防止に関わる検討課題について審議する 2. 院内感染が発生したときは、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案および実施、ならびに従事者への周知を図る 3. 重要な検討内容について、院内感染発生時および発生が疑われる場合の対応状況を含めて審議する 4. 感染対策についてマニュアル等の検討および見直しをする 5. 感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行う 6. 院内感染に関する教育および啓発に関する活動内容について検討する 7. その他、感染対策に関し、活動の必要が生じたときは、関係各署と連携を図り適切に審議する 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. MRSAによる院内感染の防止と標準予防策の実践 2. 新型インフルエンザへの当院での対応 3. 病院内における耐性菌対策&術後感染を予防するための処置・管理 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (①・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染情報レポート、ICTニュース、各種委員会、会議を通じて発生状況の報告等を行っている 2. 定期的なサーベイランスおよび病棟巡回を通じて院内感染対策活動の推進および改善を図っている 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 53 回 【1 (全体) +18 (病棟カンファ) +34 (DI)】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 1. 安全に係る職員研修（医療安全対策室主催の事例検討会） 医薬品安全管理に関する事例検討会 STOP！ Medikation エラー 2. 鎮痛補助薬について 3. 麻薬処方せんに必要な項目の確認、麻薬に関するトラブル対処法 4. バンコマイシンのTDM 5. 小児（新生児）の循環器関連の薬剤の使い方 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (○・無) ・ 業務の主な内容： 1. 医薬品の採用・購入に関する事項 2. 医薬品の管理に関する事項 3. 病棟・各部門への医薬品の供給に関する事項 4. 患者に対する医薬品の使用（処方・調剤・服薬指導など）に関する事項 5. 医薬品情報の収集・管理・提供に関する事項 6. 他施設（病院・薬局等）との連携に関する事項 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. 緊急性に応じて「薬剤部情報」「緊急薬剤部情報」を作成し、院内各部署へ配布。 2. 薬剤部ニュース・学内向けHPにて周知。 3. 情報提供・情報管理業務の質改善 → 院内向け病院薬剤部HP機能の質の向上 (患者用説明用紙など業務支援に共有で使用できるツールの充実) 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年2回以上
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 1. 輸液ポンプ・シリンジポンプについて 2. 人工呼吸および人工呼吸器について 3. 放射線業務従事者のための教育訓練講習会 4. 医療機器に係る事例検討会の実施 5. その他 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (○・無) ・ 保守点検の主な内容： 1. 特定保守医療機器に対しては、年1回のメーカー点検を実施。(特に生命維持装置) 2. 日常点検・定期(3～6ヶ月)点検に関しては、院内で実施し、記録保管。 3. 放射線治療器に関しては、保守契約により点検がなされている。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. ホームページの活用 <ul style="list-style-type: none"> ① 医療機器に関する情報提供サイトへのリンク ② 医療機器に関する情報の掲示 ③ 主要機器の取扱説明書の閲覧 2. 情報紙の定期発行 	

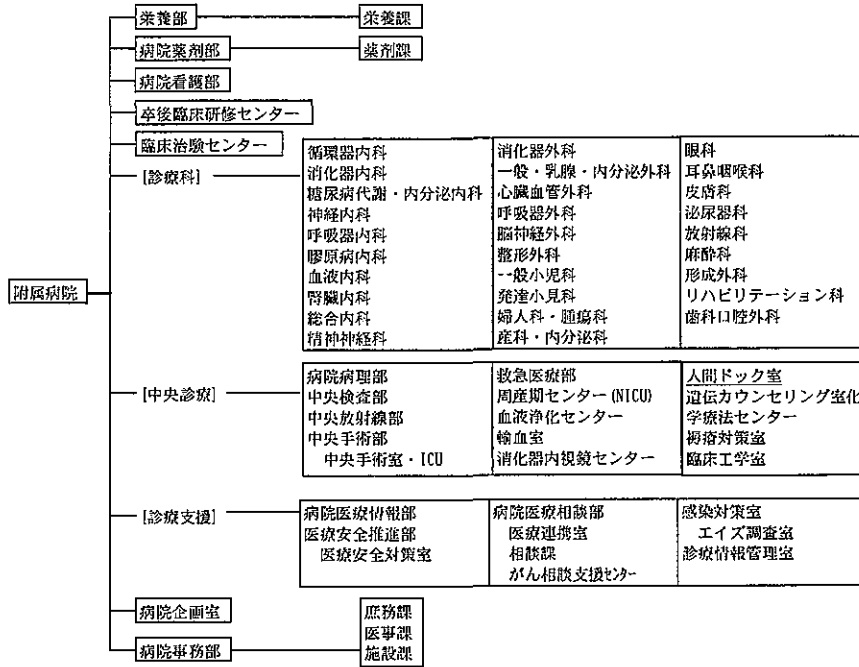
組織変更報告書

大阪医科大学附属病院 特定機能病院承認日 平成6年2月1日

変更点

- キャリア形成支援センター設置（平成20年10月1日）
- 人間ドック室廃止（平成21年3月31日）

変更前



変更後

